



2年次通信

令和4年度
12/1 (木)
師走突入号

期末テストが終了し、学園祭、百周年、研修旅行と大きな行事が続いた3学期もあっという間に終わりました。成績の上では、昨日から4学期に入ったこととなります。今学期は「3年次生0学期」と呼ばれ、自己実現に向けた第一歩を踏み出さなければなりません。準備と覚悟はできているでしょうか。そんなこと急に言われても…と感じている人もいますと思いますが、時間は平等に与えられています。自分の将来像を明確に具体化しながら、目の前のことに全力投球していくことが大切です。

研修旅行の振り返りより

- 4日間ずっと同じ時間を過ごすので最初は緊張の気持ちが多かったけど、毎日色々な時間一緒にいて、写真を撮ったりみんなの笑い声が聞こえたり、その空間が心地良かった。緊張もどんどん和らいで、周りを見るとみんながいて、なんかいいなと感じた。
- 素直な気持ちで優しくしてくれていることが班のみんなから伝わってきて、とても嬉しかったし、みんなのことがもっと好きになった。大切にしたいと思った。研修旅行を通して気付くことができ良かった。
- 北海道では急な坂道が多かったため、登るのに苦労したが、頂上からの景色はその疲れも吹き飛ばすほどの景色が広がっていた。海、建物、夜景のどれも美しく、心奪われるような絶景だった。写真だけでは分からないことを今回の旅で見ることができた。
- 研修旅行では事前調べの大切さと歴史の素晴らしさを学んだ。班別行動では行く場所を事前に調べていなかったらもったいない時間を過ごしていたと思う。また、三内丸山遺跡をはじめ、色々な所を見学して歴史を知り、今があるという奇跡を感じた。
- 函館の北方民俗資料館では、昔のアイヌの人々の文化に触れ、アイヌ独特の言語や武器、儀式を知ることができた。他にも旧イギリス領事館や旧函館区公会堂に行って、日本にいなながら海外の異文化に触れることができ楽しかった。

他にも素晴らしい感想がたくさんありました。学びを深め、友情を深めた実り多い研修旅行になったことをとてもうれしく感じます。



